



広報



七夕まつりキャラクター「たっけー☆☆」

FUSSA



平成19年(2007年)

7月1日 No. 738

発行/福生市 編集/企画財政部秘書広報課 〒197-8501 福生市本町5 ☎042-551-1511 (市役所代表) 毎月1日・15日発行

ホームページ <http://www.city.fussa.tokyo.jp/>

今号の主な記事

- 2面 国保・年金だより
- 3面 青少年の意見発表大会原稿募集
- 4面 安全安心まちづくり
- 5面 ルールを守って明るい選挙を
- 6面 生涯学習ガイド
- 8面 ごみ分別の手引き広告募集

●市役所は8月4日(土)は七夕まつり期間のため閉庁します。問合せ 企画調整課 企画調整担当



—放課後、見守りの中で、安心して楽しくすごせる場として—

# 「ふっさっ子の広場」

## 六小で10月からスタート!



子どもが地域の中で、心豊かに、自主性や協調性を持って健やかに育まれる環境づくりを推進するため、「ふっさっ子の広場」が始まります。問合せ 社会教育係

「ふっさっ子の広場」は、放課後等に小学校内の施設や校庭を利用し、安全な見守りの中で、子どもが安心して楽しくすごせる場です。

「ひとり遊び」では得られない、異なる年齢の子ども同士が自由な関わりの中で、創造性、社会性、リーダーシップが育まれる場ともなります。

今年の10月にモデル校として第六小学校でスタートし、続いて平成20年度3校、21年度3校と順次開設していきます。

### ふっさっ子の広場って？

だれが参加できるの？  
各通学区域内の小学生が対象になります。(事前登録制)

### いつ利用できるの？

月曜日～金曜日(祝日を除く)  
夏時間(4～9月)  
放課後～午後6時

冬時間(10月～3月)  
放課後～午後5時

※長期休業中は午後1時から



### コーディネーター、スタッフ募集

「ふっさっ子の広場」では、子どもの自主的な遊び・異年齢交流の促進、安全確保等を行い、保護者、学校等との連絡調整や活動内容の企画・運営等を行うコーディネーターおよびスタッフを募集します。

募集要件原則として次の要件に該当する方

- ① 教員免許、幼稚園教諭免許、保育士資格を有している方、または社会教育主事課程、司書課程、学芸員課程を修了した方
- ② 地域において、子ども関係事業等に精通した方
- ③ 児童の健全育成に関する知識、経験等を有する方

コーディネーター①の資格を有し、かつ②または③に該当する方

スタッフ①②③のいずれかに該当する方

選考方法 作文及び面接(詳細は社会教育係まで問い合わせください。)

募集期間 7月5日～15日

問合せ 社会教育係 ☎552・5632

### 保護者のみなさんへ

—親子で話し合って参加を—

「ふっさっ子の広場」は、お子さんをお預かりし、監護をする託児施設ではありません。各小学校施設等を利用して、放課後、見守りの中で学び・遊べる自由来所型の全児童を対象とした事業です。

そのため、その日に「ふっさっ子の広場」に参加するか、しないか、また、帰る時間や帰り道なども、保護者の方とお子さんで、きちんと話し合って参加してください。

「見守りならできます」とか、さまざま形態で子どもの育ち合いを地域全体で応援していただきたいのです。



六小「ビオトープ」  
(自然生態系の観察モデル)

### 小学生のみなさんへ

—ひとりからふたりへ—

「ふっさっ子の広場」では、年上や年下の友だちと一緒に、学んだり、遊んだり、工作をしたり、本を読んだり、絵を描いたり、スポーツをしたり、いろいろなことを自分たちで考えて楽しんでください。

みなさんが、地域の大人の手に手伝ってもらうことにより、昔遊びや自然観察などのさまざまな体験ができるようにしようと考えています。

### 市民のみなさんへ

—市民のみなさんの知恵と技と時間をお貸しください—

「ふっさっ子の広場」では、保護者の方をはじめ、市民のみなさんの協力を得て、さまざまな体験や学びの機会を通して、一緒に子どもたちを育んでいただきたいと考えています。

「これならば指導できます」「見守りならできます」とか、さまざまな形で子どもとの育ち合いを地域全体で応援していただきたいのです。

### きんもくせい



福生市長 野澤 久人  
環境フェスティバルにて

ほたる祭

今年もまた熊牛町会主催のほたる祭が、天候にも恵まれて行われました。

田園地区がまだ田んぼだった頃、玉川上水から田んぼにかけて、蛍が群れをなして飛んだ年がありました。

教育委員会が天然記念物に指定しようと検討している内に、蛍は出なくなりました。

その頃から熊牛の有志の皆さんが福生ホテル研究会を作り、人工飼育の研究を始められ、現在のほたる公園になります。

蛍の餌のカワニナが少なくなって、蛍の養殖も難しいようですが、公園付近ではかなりの数の蛍が飛び交っていました。

崖線(はけ)上は、模擬店と演芸大会で道路をずっと歩くようなありさまで、人が大変多く、今年は特に子ども連れが多かったようです。

今子どもたちは、家の中でTVなどの映像で蛍を見ても、実物を見ることができませんが、福生で実物を見て感動し、それが後の人生の転機になるかもしれない。

子どもにも実物を見せに連れてきた親に感謝し、熊牛町会の皆さんに感謝したほたる祭でした。